

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

社会福祉法人白河学園
第三つぼみ園

公表日：令和6年3月1日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関・トイレ入り口に段差があるため、手すりを設置。個々の障がいの状態に応じて見守りや必要な介助を実施している。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日支援前に職員全員で打ち合わせを行い、業務改善に努めている。
	⑤	保護者等向け評価票を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けアンケートを実施し保護者の意向を把握すると共に、日頃から保護者が意見・要望を話しやすい雰囲気づくりに努め、示された意見や要望に対しては、職員間で共有・分析して業務や支援の改善に繋げている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページや事業所内掲示板にて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は実施していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたものの、外部研修を控える状況を継続したため、参加する機会が少なかった。内部研修を定期に実施した。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の迎えの際にはコミュニケーションをとり、必要がある際は面談も実施した。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	アセスメントツールは活用していない。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全職員で話し合いを行い検討している。
	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか		○		今後、児童が望む遊びやプログラムを検討していく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		長期休みに関して、計画は行ったが熱中症予防のため実行できない部分があった。今後、室内で行える行事やイベントを検討していきたい。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			平日は個別プログラム中心で考え、行事の際は集団プログラムで検討している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日支援前に行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		○		勤務時間の関係上、支援終了後に行うことが難しいため支援開始前に行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ケース記録は毎日残し、個別支援計画を作成する際などに見返すようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		見直しを1回しか行っていない児童もいるため、全児童6か月を目安に検討できるようにしていきたい。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			子どもの発達過程や障がい特性等を理解し、基本活動を支援している。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議に担当者が参加し、情報の共有に努めた。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			毎日の送迎の際に学校の教員とコミュニケーションをとり対応している。また、送迎方法、場所が変更になる際も連絡を密にとり対応した。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケア対象児の受け入れは行っていない。てんかんがある児童は、保護者と緊急時の対応について検討を行った。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		小学校新入生の受け入れはない。新規児童については以前利用していた事業所、保護者と面談を行い、情報共有に努めた。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、その場での支援内容等の情報を提供する等しているか		○		学校と家庭を通してのやり取りが主となっている。相談支援事業所と連携を密に取り、情報の提供に努めている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことで、前年度より研修会等の参加する機会は増えたが、助言をいただく等の連携が不足していると思える。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか			○	ない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			積極的に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎日送迎時に本日の様子をお伝えしている。また連絡帳のチェックを行い何か変わったことがあった際にはその都度質問しているようにしている。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者からの相談等に応じたり、提案を行ったりしている。	
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時や変更があった際等、その都度説明をしている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			必要に応じて話を聞く時間を設けている。
	㉒	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	父母会はない。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			重要事項説明書に対応の体制が明記されており、保護者に交付すると共に事業所内に掲示している。苦情があった場合には、「白河学園苦情解決制度実施要項」により、適切に対応していく。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月1回会報を発行している。また、行事等を実施した際は、実施の様子などを写真にして玄関に貼っている。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			法人として「個人情報保護規定」により慎重に管理している。個人情報は鍵付きキャビネットに保管している。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもの行動の前後の様子から読み取るよう努力している。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	していない。

非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時対応・感染症対応については、「非常災害時等の対応について」を職員に周知すると共に保護者に配布した。防犯マニュアルについては、作成予定としている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出のほか必要な訓練を行っているか		○		職員間で防災計画等の確認を行い、避難場所等の確認は行ったが、定期に避難訓練は行うことができなかった。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			内部研修、外部研修への参加と内容の報告により周知している。また、支援においても、毎日、支援の振り返りを行い、不適切な支援はないか確認し、支援の向上に努めている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			運営規定に明記している。やむを得ず身体拘束を行う場合には、要件等について家族へ説明し、了解を得ていく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者を介して、医師の指示をいただくようにし、対応に努めている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットが確認された際は、翌日の打ち合わせ等で全職員と情報共有を行い、対応策を検討した。